



青南だより

令和2年夏休み号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

＜自然環境の恵みを生かした保育の充実＞

青南幼稚園は、多様な植栽に恵まれ、そこに多様な生き物が棲んでいます。子どもたちは探究心をくすぐられ、アオムシを探して育て、アゲハチョウになる様子を研究し、おもしろい手作り図鑑がいくつもでき上がっています。最初は虫が苦手だった子が、いつの間にか目を輝かせて、カタツムリ、カミキリムシ、カエルなどを探し回っています。何より、身の丈に合った共通の直接体験を基にした友達とのやり取りが深まり、主体的な活動として続いているところが重要です。

＜人と関わる術を学ぶ幼稚園＞

それらの様子やそこで育つ心情や態度についても、普段ならば、保護者会や懇談会でお話するのですが、今は、それが思うようにできず残念です。それを補うものとして、ホームページのブログや小さなコラム、先生たちは写真を入れたドキュメンテーション、学年だよりなどでお伝えしています。夏休み中も改めて掲載してきた資料を再度ご覧いただきたいと思います。また、ホームページは随時更新していきますので、ぜひ家庭での子育ての参考にさせていただきたいと思います。

＜社会に出たときに分かる幼児教育の大切さ＞

9月8日（火）には、リクルートマネジメントソリューションズの桑原正義さんに、企業の人材育成のプロとして感じている幼児教育の大切さについてご講話いただく予定です。遊びを通して学ぶ力が、社会人になったときの現実対峙力の土台となるという話は、きっと私たち保育者が話すのとは異なる切り口で、子育てのヒントになると思います。詳しくは後日改めてお知らせします。感染予防のため、人数制限をせざるを得ないと思いますが、資料は皆さんにお渡しできるようにするなど、工夫をしますので、ご期待ください。

・・・葉月（はづき）・・・

立秋（7日）…セミが鳴き、暑さはまだまだ続きます…

処暑（23日）…暑さも少し収まり、もうすぐ2学期…

今年の夏野菜は、最初から持ち帰りを想定して、ミニトマトや枝豆、オクラなどを選びました。年長から順番に、年少まで一つずつではありますが、持ち帰ってもらっています。毎年、野菜が苦手という子が、自分たちで育てた野菜だと食べられた、という話を聞きますが、いかがでしょうか？手間ひま掛けて育てた野菜は、きっと一味違うことでしょう。

青南の 二十四節気



エノキの木が住処の幼稚園産のタマムシ



羽化したアゲハチョウの飛び立ちを応援



トンボもチョウチョも元気だね、バイバイ！！



むしむし研究所には手作り図鑑がいっぱい



園庭のヒマワリはグングン生長中！